

セントラルモニター及び生体情報モニター

仕 様 書

令和 6年 11月

沖縄県立北部病院

趣 旨

沖縄県立北部病院に設置予定のセントラルモニター及び生体情報モニターの調達に関する契約履行について、必要な事項を定めるものとする。

1 調達物品名

セントラルモニター 二式
生体情報モニター 八式

2 納入場所

沖縄県立北部病院(沖縄県名護市大中二丁目12番3号)

3 履行期限

令和7年3月31 日まで

4 要求仕様

別紙「セントラルモニター仕様書」と「生体情報モニター仕様書」の要件を満たしたものであること。

5 構成内容

別紙「セントラルモニター仕様書」と「生体情報モニター仕様書」のとおり。

5 搬入設置条件

- ①本調達物品は、当院の指定する場所に設置すること。
- ②機器の搬入設置、調整等については、当院の診療業務に支障をきたさないように調整を行い、そのスケジュールに従い完了すること。
- ③本調達の設置に関し、機器の搬入、据付、配線、接続、調整等は本調達に含むものとする。

6 保守、支援体制

- ①保証期間は納入後1年とする。この期間内において不可抗力、又は取り扱い不注意による以外で故障が生じた場合は、納入業者において無償修理その他の保証を行ものとする。また、必要に応じて代替機を設置すること。
- ②障害等発生時において、当院が必要とする速やかな復旧等の対応が可能な体制を有していること。
- ③障害時対応として、修理部品が用意されていること。

7 その他

- ①物品は、新品、未使用であること。
- ②取扱説明に関する教育訓練は、当院が指定する日時、場所で行うこと。
- ③本調達物品のマニュアルは、日本語版を提供すること。
- ③入札額には設置調整に必要な諸費用等、稼働に必要な諸経費を全て含めること。
- ④入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- ⑤本仕様書に記載されていない事項について疑義のある場合は当院と協議し、その旨従うこと。

セントラルモニター仕様書

No.	仕様内容
1	構成に関しては以下の要件を満たすこと。
1-1	ICU、HCUに各1台準備すること。
1-2	表示ディスプレイは各1画面準備すること。
1-3	ICU、HCUのセントラルモニターは各4床以上表示可能であること。
1-4	本体部、表示部ディスプレイで構成されていること。
1-5	表示ディスプレイサイズは23.8インチ以上であること。
2	表示、機能に関しては以下の要件を満たすこと。
2-1	ディスプレイは、タッチパネルを採用していること。
2-2	フラットディスプレイを採用し、凹凸の無いディスプレイであること。
2-3	解像度は、1920×1080dot以上であること。
2-4	モニタリングしている人数に応じて、自動で画面構成を見やすく最適なレイアウトに変更する機能を有すること。
2-5	操作メニューの表示は日本語であり、かつ患者名の漢字表示も可能であること。
2-6	測定中の数値、波形のバイタルサインが表示できること。
2-7	以下の波形が表示可能であること。 心電図波形(ECG)、呼吸波形(RESPIR)、観血血圧波形(IBP)、プレチスモグラフ(SpO2)、カブノグラム(CO2)
2-8	以下の数値が表示可能であること。 心拍数、呼吸数、体温、動脈血酸素飽和度、脈拍数、観血血圧、非観血血圧、終末期二酸化炭素濃度
2-9	測定項目の順序が変更可能であること。
2-10	タッチパネル、マウス、キーボードでの操作が可能であること。
2-11	各計測値に対して、上限・下限アラームが設定可能であること。
2-12	アラームは、重症度により段階レベル以上の設定可能であること。
2-13	生体情報モニターと、患者情報、アラーム設定が同期すること。
2-14	有線で生体情報モニターと接続されている時、アラーム音中断、モニタリング中断が同期すること。
2-15	セントラルモニターから、生体情報モニターのNIBP測定スタート/ストップが可能であること。
2-16	セントラルモニタ、生体情報モニター、病院内時刻サーバーを同期すること。
2-17	不整脈解析機能を有し、その項目は24項目以上であること。
2-18	レビューに関しては、最大120時間以上の保存機能を有すること。
2-19	グラフトレンド、リストレンドともに、最大120時間以上の記憶が可能であること。
2-20	リストレンドの表示間隔を1/2/5/10/15/30/60分/NIBP測定時に選択可能であること。
2-21	退床した患者についても、最大120時間前までの長時間波形・グラフトレンド・リストレンド、リコール波形を閲覧・記録が可能であること。
2-22	3chサーマルレコーダもしくはプリンタを接続可能であること。
2-23	プリンタは、複数のセントラルモニターで共有可能であること。
2-24	プリンタによりトレンドグラフ／リストレンド／リコール波形／長時間記憶波形における圧縮・拡大波形の記録が可能であること。
2-25	内部バッテリーもしくはUPSとの接続が可能であること。
2-26	患者情報に関して日本語での入力、表示が可能であること。
3	その他
3-1	生体情報モニターと有線LANにて通信が可能であること。
3-2	生体情報モニターとの接続する際には病院ネットワークを使用すること。
3-3	病院指定システムに接続しセントラルモニター、生体情報モニターにて患者属性連携を行うこと。病院指定システムとの連携が行えない場合は、電子カルテシステムとの連携でも可とする。詳細は病院と協議の上実施すること。
3-4	病院指定サーバーに接続しセントラルモニターからHL7形式にて行うこと。詳細は病院と協議の上実施すること。
3-5	病院指定の時刻同期サーバーとセントラルモニター等を接続し時刻同期が可能であること。
3-6	生体情報モニター、セントラルモニターと別にサーバーが必要な場合サーバー室への設置、通線、耐震補強、ウイルス対策を含めること。
3-7	電子カルテ端末からWEB参照にて、セントラルモニターにアクセス可能であること。
3-8	電子カルテ端末からWEB参照時に、入床中患者の数値、波形情報の参照が可能であること。
3-9	ICU、HCU間での患者移動の際には、患者情報、バイタル情報等を全て引き継ぎが可能であること。
3-10	接続・連携に関しては、病院と協議の上実施すること。

生体情報モニター 仕様書

No.	仕様内容
1	構成について、以下の条件を満たすこと。
1-1	ICU、HCUに計8台の生体情報モニターを準備すること。
1-2	表示ディスプレイサイズは19インチ以上であること。
1-3	ディスプレイ付測定モジュールを8台準備すること。
1-4	本体部、ディスプレイ部、生体情報入力部から構成され、一体型モニターであること。
1-5	使用する環境に合わせて計測用モジュール(オプション)を追加することにより、計測パラメータを増やすことができること。
1-6	1台で心電図、呼吸、非観血圧、経皮的動脈血酸素飽和度、二酸化炭素分圧(オプション)、体温、観血圧を測定可能であること。
1-7	ディスプレイ部はフラットディスプレイを採用し、段差や凹凸が無く清拭性に優れること。
2	表示、機能に関しては以下の要件を満たすこと。
2-1	8波形以上の表示が可能であること。
2-2	各測定項目の表示色を11色以上から選択ができること。
2-3	画面上に患者情報を表示可能であること。
2-4	画面レイアウトは3種類以上設定できること。
2-5	各測定項目ごとにパラメータウィンドウを用意し、各測定項目の詳細な情報が確認できること。
2-6	ユーザーキー、もしくはカスタマイズキーを20個以上有すること。
2-7	操作メニューの表示は日本語であり、かつ患者名の漢字表示も可能であること。
2-8	タッチ操作が可能であること。
2-9	以下の波形が表示可能であること。 心電図波形(ECG)、呼吸波形(RESPIR)、観血圧波形(IBP)、プレチスモグラフ(SpO2)、カプノグラム、(CO2)
2-10	以下の数値が表示可能であること。 心拍数、QTc、呼吸数、体温、動脈血酸素飽和度、脈拍数、観血圧、非観血圧、CO2(炭酸ガス濃度)、TEMP(体温)
2-11	ST計測機能を有すること。
2-12	3/5電極もしくは3/6電極の使用が可能であること。
2-13	不整脈解析機能を有していること。
2-14	不整脈解析項目は24項目以上であること。
2-15	QT・QTc計測機能を有すること。
2-16	インピーダンスでの計測が可能であること。
2-17	無呼吸時間(APNEA)の計測が可能であること。
2-18	成人、小児、新生児に対してディスプレイが使用できること。
2-19	センサーは2社以上から選択し、使用できること。
2-20	脈拍数を計測し、PR値を測定可能であること。。
2-21	NIBP測定の間隔設定は任意に可能であること。
2-22	手動／定時／連続にて測定が可能であること。
2-23	測定間隔をプログラムする事ができるランバールモードを有すること。
2-24	カフは成人、小児に対応したサイズを用意できること。
2-25	ゼロバランスが容易に行えること。
2-26	複数の血圧の0校正を同時に行う機能を有すること。
2-27	観血圧から脈拍数を計測できること。
2-28	最大4chの観血圧を同時に測定できること。
2-29	観血圧のラベル設定においてラベルを5つ以上有すること。
2-30	同時に2箇所体温を計測できること。
2-31	体温ラベルを設定可能であること。
2-32	任意の2つの差温を計測表示できること。
2-33	メインストリーム方式で及びサイドストリーム方式での測定が可能であること。
2-34	アラームは、重要度に応じて3段階で通知する機能を有すること。
2-35	アラームは、IECの規格に準拠したアラーム表現が可能であること。
2-36	アラーム発生時には、画面表示や音による通知が行えること。
2-37	アラームの重症度を変更する機能を有すること。
2-38	成人、小児、新生児毎にアラーム設定が可能であること。
2-39	グラフトレンド/リストトレンド/リコール/アラーム履歴/数値情報/長時間波形保存機能を有していること。 もしくは上記項目をセントラルモニターを参照可能であること。
2-40	画面に表示している日時のまま、別データの参照が可能なこと。
2-41	人工呼吸器のデータを取り込み、電子カルテに表示できること。
3	その他の機能、性能に関しては以下の要件を満たすこと。
3-1	生体情報モニターからスレーブディスプレイへ出力可能であること。
3-2	スレーブディスプレイは21インチ以上、ワイドディスプレイを8台準備すること。
3-3	スレーブディスプレイとの接続に要する通線、設置工事も含めること。
3-4	セントラルモニターと有線LANにて通信が可能であること。
3-5	セントラルモニターとの接続する際には病院ネットワークを使用すること。
3-6	病院指定システムに接続しセントラルモニター、生体情報モニターに患者属性連携を行うこと。病院指定システムとの連携ができない場合は、電子カルテシステムとの連携でも可とする。詳細は病院と協議の上実施すること。
3-7	入退床、患者情報登録時にバーコードリーダの使用が可能であること。
3-8	病院指定の時刻同期サーバーとセントラルモニター等を接続し時刻同期が可能であること。